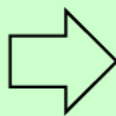


きめ細やかな栽培管理による高品質なマンゴー生産

経営体の概要

経営開始当初（昭和59年）
 基幹作物：（施設）ビワ 0.8ha
 （施設）マンゴー 0.2ha
 経営面積：1.0ha



現在（平成30年）
 基幹作物：（施設）マンゴー 0.5ha
 （施設）アセロラ 0.3ha
 経営面積：0.8ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体の代表者は、2年間農機具会社で働いた後、昭和59年頃に新規に農地を取得し就農した。就農当初はビワを生産していたが、試験的に始めたマンゴー栽培を拡大、その後健康ブームにより需要が伸びていたアセロラも平成7年に導入して現在に至っている。

畑地かんがい施設が整備される以前は、かん水作業に膨大な時間を取られていたが、平成19年の通水（国営名蔵川地区関連事業）により、整備後はかん水作業にかかる時間は10分の1以下となり、経営規模の拡大が実現している。また、せん定や整枝、玉吊り、袋掛けなどの管理作業に集中できるようになり、品質が向上している。

営農改善のポイント

①省力化

畑地かんがい施設の整備前は、一日当たり3時間以上かん水作業にかかっていたが、整備後は、一日当たり10分程度で済むようになっている。

また、整備された給水栓に液肥混入器を据付け、かん水と同時に肥培管理も行うことで作業効率が向上している。

畑地かんがい施設の整備によるかん水時間の低減



②単収・品質の向上

かん水作業に係る労力が大幅に軽減されたことで、せん定や整枝などの管理作業に時間を割くことが可能になったことから、きめ細やかな栽培管理を行うことが出来るようになり、品質の向上に繋がっている。



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：石垣市
 受益面積：4,338ha
 事業期間：平成26年度～
 事業目的：畑地かんがい、用水改良
 主要工事：地上ダム5箇所
 頭首工 3箇所
 揚水機場6箇所
 用水路 新設50km、改修55km
 その他 中央管理所他

位置図（沖縄県）



<局問い合わせ先>
 沖縄総合事務局
 農村振興課 地域資源係
 電話：098-866-1652
 （内線：83335）

（平成30年調査時点）